

Cisco 7800シリーズまたは8800シリーズマルチプラットフォーム電話機でのXMLによるボイスメールパラメータの設定

目的

Extensible Markup Language(XML)は、ドキュメントをエンコードするための一連の規則に基づくマークアップ言語です。XMLは、インターネットを介した通信およびデータの交換の基本言語となりました。これは、機械と人間が読み取れるからです。そのため、XMLは多くのオフィス生産性ツールで最も一般的な形式になっています。Cisco 7800シリーズおよび8800シリーズマルチプラットフォーム電話機の場合、設定はXMLファイルを使用して行うことができます。

この記事では、XMLを使用してCisco 7800シリーズおよび8800シリーズマルチプラットフォーム電話機のボイスメールパラメータを設定する方法を説明します。設定する必要があるボイスメールパラメータが既があり、コンピュータが電話機と通信できることを前提としています。また、アクティブなTrivial File Transfer Protocol(TFTP)サーバがインストールされていることを前提としています。

該当するデバイス

- 7800 シリーズ
- 8800 シリーズ

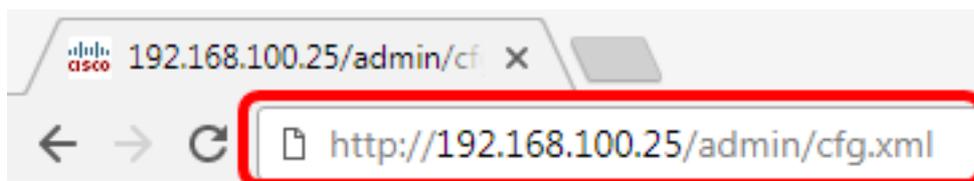
[Software Version]

- 11.0.1

ボイスメールパラメータの設定

XMLファイルの保存

ステップ1: Webブラウザで、アドレスバーに<http://<phoneip>/admin/cfg.xml>と入力します。phoneipは電話機のIPアドレスです。

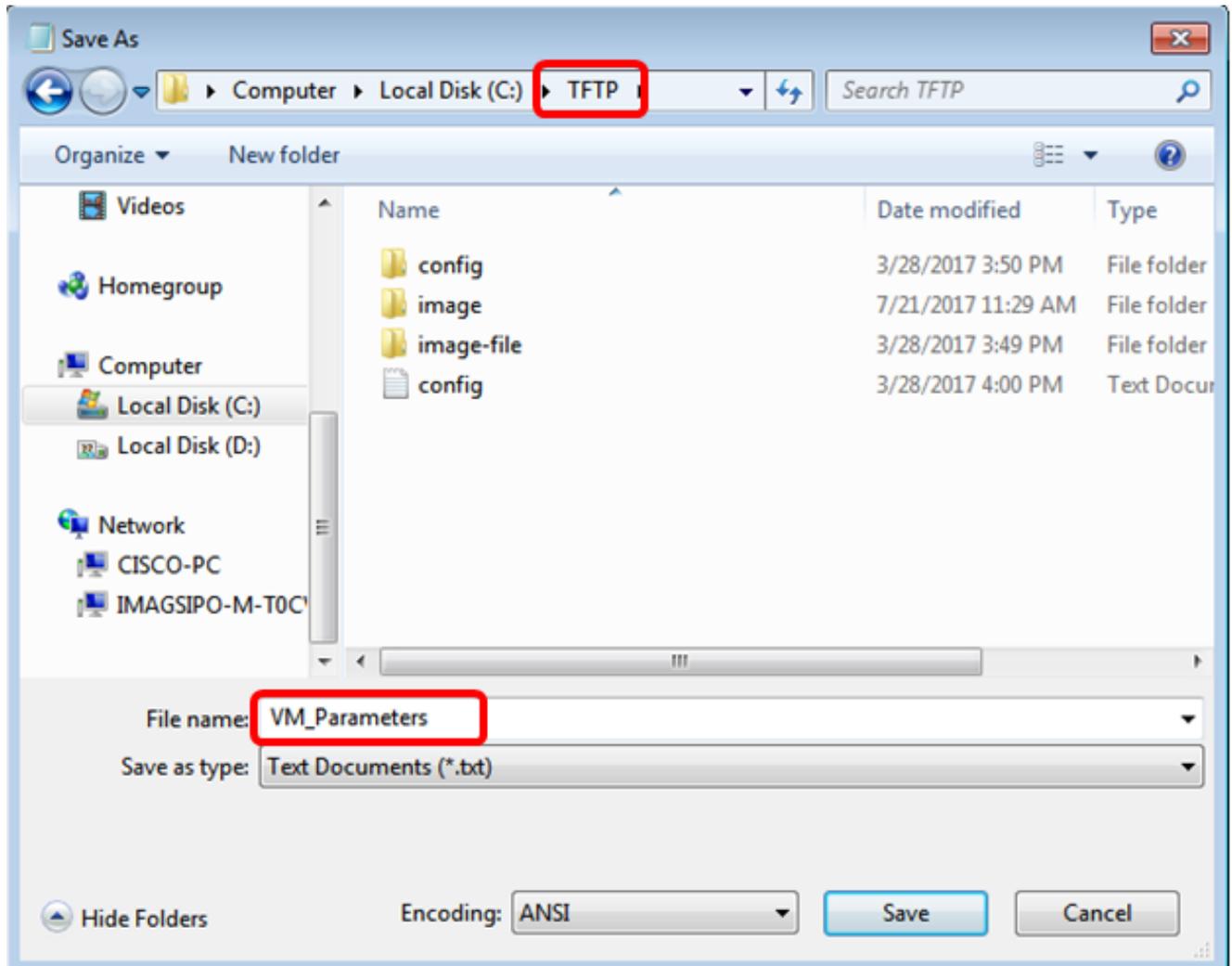


注：この例では、電話機のIPアドレスは192.168.100.25で、<http://192.168.100.25/admin/cfg.xml>と入力します。

ステップ2:[XML]ページが表示されます。XMLスクリプトをコピーし、ファイルのコピーをコンピュータまたはTFTPサーバに.xml形式で保存します。

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```
<flat-profile>
  <!-- System Configuration -->
  <Restricted_Access_Domains ua="na"/>
  <Enable_Web_Server ua="na">Yes</Enable_Web_Server>
  <Enable_Protocol ua="na">Http</Enable_Protocol>
  <Enable_Direct_Action_Url ua="na">Yes</Enable_Direct_Action_Url>
  <Session_Max_Timeout ua="na">3600</Session_Max_Timeout>
  <Session_Idle_Timeout ua="na">3600</Session_Idle_Timeout>
  <Web_Server_Port ua="na">80</Web_Server_Port>
  <Enable_Web_Admin_Access ua="na">Yes</Enable_Web_Admin_Access>
  <!-- <Admin_Password ua="na"/> -->
  <!--
  <User_Password ua="rw">*****</User_Password>
  -->
```



注：この例では、ファイルはTFTPフォルダ内のファイル名VM_Parametersとともに保存されます。

ステップ3：ファイルを開き、必要に応じてボイスメールパラメータを編集します。

```
<Locale ua="na">en-US</Locale>
<!-- General -->
<Station_Name ua="na"/>
<Station_Display_Name ua="na"/>
<Voice_Mail_Number ua="na">5551234</Voice_Mail_Number>
```

注：この例では、ボイスメールボックス番号は5551234に設定されています。

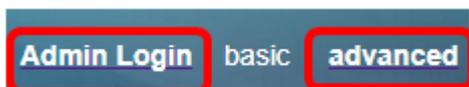
ステップ4：ファイルを保存して、編集を保持します。

これで、ボイスメールパラメータのXMLファイルをコピーして保存できました。

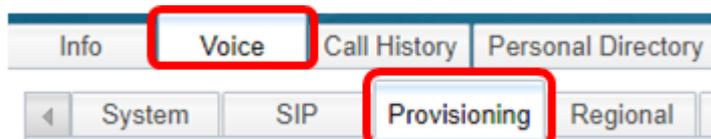
TFTPを使用してXMLファイルを電話機にアップロードします

XMLファイルを保存したら、次の手順に従って電話機にアップロードします。

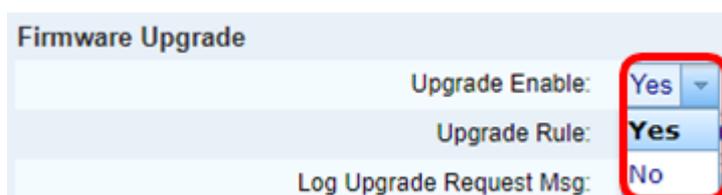
ステップ1：電話機のWebベースのユーティリティにログインし、[Admin Login] > [advanced]を選択します。



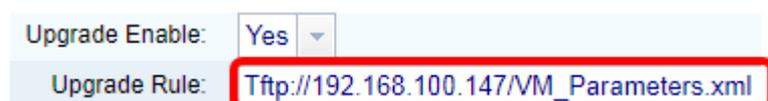
ステップ2:[Voice] > [Provisioning]をクリックします。



ステップ3:[Firmware Upgrade]セクションで、[Upgrade Enable]が[Yes]に設定されていることを確認します。



ステップ4:[Upgrade Rule]フィールドに.xmlファイルを電話機にロードするtftp文字列を入力します。



注：この例では、Tftp://192.168.100.147/VM_Parameters.xmlと入力します。ここで、192.168.100.147はTFTPサーバのIPアドレスです。

ステップ5:[Submit All Changes]をクリックします。



これで、XMLファイルが電話機にアップロードされたはずです。

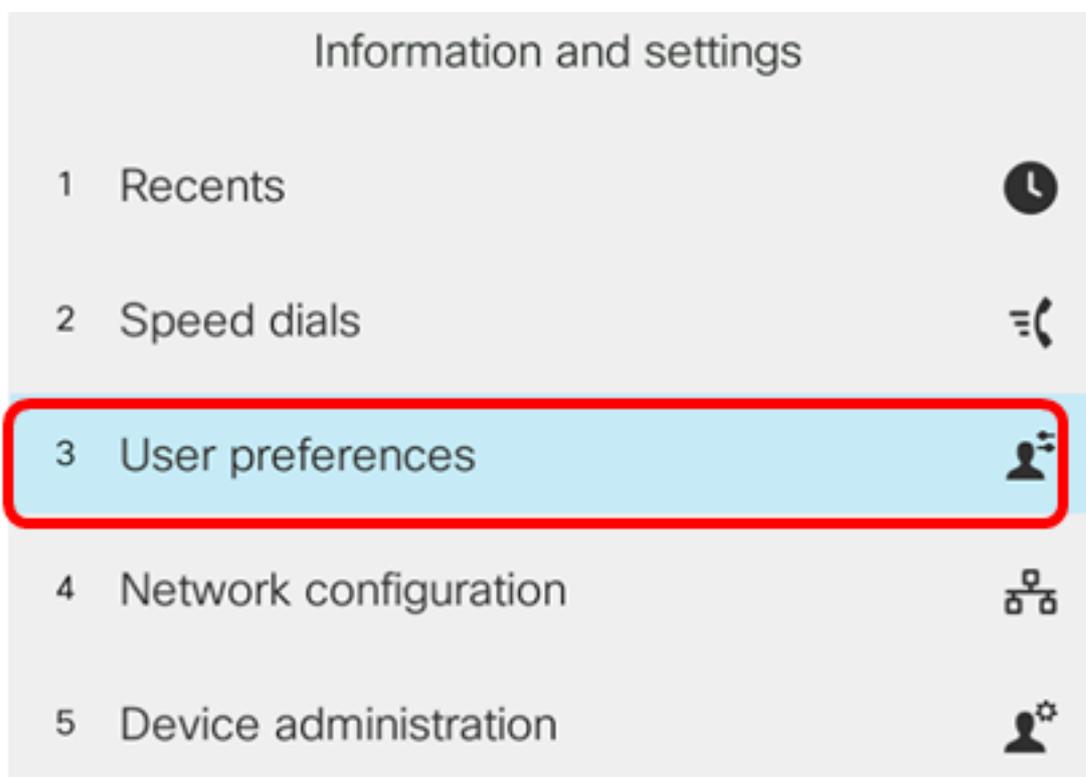
ボイスメールパラメータの確認

編集が電話機に適用されたことを確認するには、次の手順を実行します。

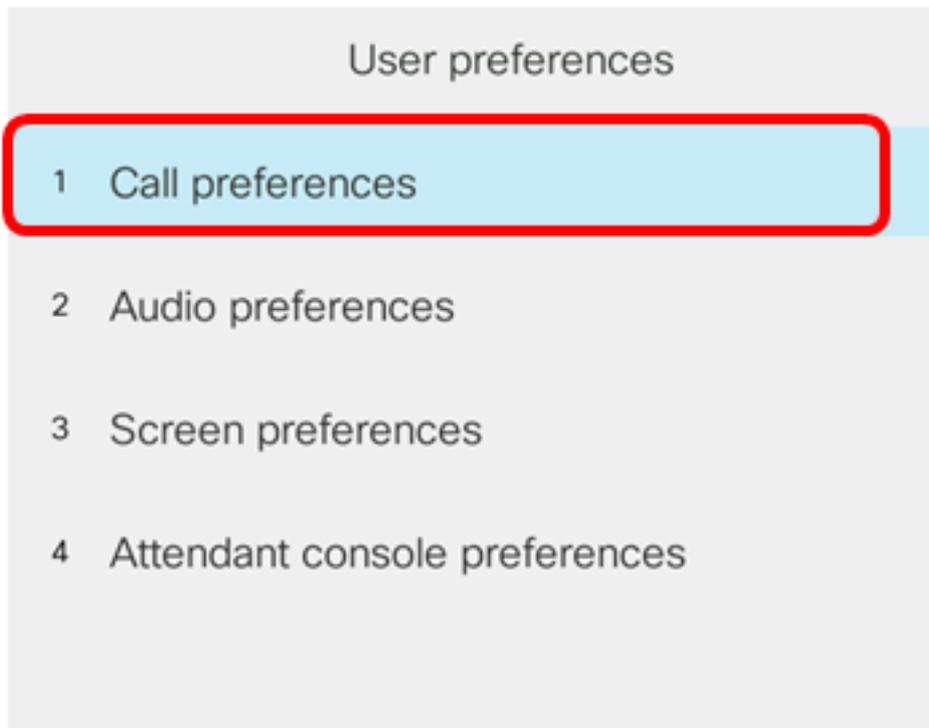
ステップ1：電話機で[アプリケーション]ボタンを押します。



ステップ2:[User preferences]を選択します。



ステップ3:[Call Preferences]を選択します。



Select

ステップ4:[Voice mail]フィールドに同じボイスメールボックス番号が表示されていることを確認します。

A screenshot of a 'Call preferences' form. The form has five fields: 'Forward all number', 'Forward busy number', 'Fwd no answer number', 'Fwd no answer delay', and 'Voice mail'. The 'Voice mail' field contains the number '5551234' and is highlighted with a red border.

Option

Set



注：この例では、XMLファイルで編集されたボイスメールボックスの数が反映されます。

ステップ5：ボイスメールボックスの設定に応じて、ボイスメールボックス番号をダイヤルし、ボイスメールの再生、スキップ、再生、および削除を求めるプロンプトを再生することもできます。

これで、XMLを使用してボイスメールパラメータを正しく設定できました。